



神崎市議会だより

あやとり

2月定例会・5月臨時会
6月定例会は6月7日開会予定です。



令和 6 年 5 月に行われた神崎市議会第 2 回臨時会において、新たな議長・副議長が選出されました。正副議長より、就任のご挨拶を申し上げます。

議長就任のあいさつ

神崎市議会議長 野 副 芳 昭

令和 6 年 5 月 7 日に開催された第 2 回神崎市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。

神崎市は、新たに實松市長が就任され、市政への信頼回復に向けて確実に歩みだしております。このような重大な時期に議長に就任する事に、その責任の重さを痛感しております。

市民の皆さまの信頼回復のためには、二元代表制の一翼として、市政に対する議会のチェック機能を十分に果たさなければならないと感じております。そのためにも、市長をはじめ執行部と真摯な議論を重ね、防災対策や人口減少対策等、本市が抱える様々な問題を公正かつ厳粛に受け止めながら、課題解決に向けて執行部と共に取り組んでまいります。

神崎市議会一丸となり、魅力あるまちづくり実現のため誠心誠意努力していく所存でありますので、市民の皆様には、より一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げまして、就任のあいさつとさせていただきます。



副議長就任のあいさつ

神崎市議会副議長 平 山 文 也

令和 6 年 5 月臨時定例会において、副議長に就任いたしました。その責務の重さに身の引き締まる思いです。

市民の皆様には、新たな執行部体制に期待を馳せられておられることと思います。一方で、二元代表制の一翼を担う神崎市議会といたしましても行政監視機能の強化を図ることが求められており、公正・公平な議会運営に努めるとともに市民の皆様への負託に応える必要性があります。

本市の現状を見ますと、防災対策・産業振興・子育て支援や移住定住対策等々取り組むべき課題が山積しております。議会といたしましても、政策提言など積極的に行う必要があり更なる政策形成機能を発揮することが市民の負託に寄与することに繋がると考えております。

市民の皆様には、神崎市議会に対し、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いし、就任のあいさつとさせていただきます。



新たな議会体制の紹介



令和 6 年 5 月に行われた神崎市議会第 2 回臨時議会において、神崎市議会の新たな議会体制が決定しました。各委員会等の構成を紹介します。



総務常任委員会（6 名）

木原 憲治	委員長	増田 紀之	副委員長
福田 清道	委員	田原 和幸	委員
野副 芳昭	委員	大野 秋人	委員



木原 憲治

D X の推進と異常気象による豪雨対策を行政と連系を図り安心安全な街づくりに邁進し、まずは信頼回復に努めていきたい。

文教厚生常任委員会（6 名）

白石 昌利	委員長	野口 英樹	副委員長
佐藤 知美	委員	原口ひさよ	委員
末次 勝	委員	吉田 守	委員



白石 昌利

委員会の審議及び様々な活動など、市教育と福祉が市民みなさんの安心と満足に繋がるよう取り組んでいます。

産業建設常任委員会（6 名）

服巻 玉美	委員長	副島 英樹	副委員長
永沼 彰	委員	中野 均	委員
平山 文也	委員	徳川 博人	委員



服巻 玉美

動き出した城原川ダムの地域振興対策や、移住者の生活再建など、安心安全な街づくりを目指します。

議会運営委員会（6 名）

中野 均	委員長	原口ひさよ	副委員長
福田 清道	委員	永沼 彰	委員
田原 和幸	委員	白石 昌利	委員



中野 均

議長の諮問機関として、市議会全体の円滑・効率的な運営に、しっかりと協議して取り組んでいます。

議会広報編集特別委員会（6 名）

佐藤 知美	委員長	末次 勝	副委員長
田原 和幸	委員	副島 英樹	委員
徳川 博人	委員	大野 秋人	委員



佐藤 知美

開かれた議会へと、議会だよりの紙面を通じ表紙も含め、市民の皆様が関心を持って頂くよう更に編集に努めます。

神崎市議会議員補欠選挙が行われました

欠員となっていた市議会議員は、令和 6 年 4 月 28 日に執行された補欠選挙において、当選者が決まりました。当選された議員は吉田守議員です。

なお、任期は現職議員と同様、令和 8 年 4 月 22 日までとなります。



▲吉田守議員

当時の現職市長の逮捕を受けた市議会の対応について

令和 6 年 2 月 13 日、内川修治前神埼市長が官製談合防止法違反などの疑いで、逮捕され、その後、令和 6 年 3 月 5 日に検察当局により起訴されました。

当時の現職市長の逮捕・起訴については、市議会としても大変重く受け止め、神埼市議会では、令和 6 年 3 月 18 日に「官製談合事件の検証と再発防止を求める決議」を可決しました。

また、二元代表としての一翼を担い、市政を監視する立場である議会として、これまでの市政の監視体制を検証し、更に強化するための手法について、議会の立場で調査・検討することを目的に、「行政監視機能強化検討特別委員会の設置に関する決議」を可決し、特別委員会を設置しました。あらためて議会の役割と責任を深く認識する必要があると考えております。

次ページにて、決議第 2 号「行政監視機能強化検討特別委員会の設置に関する決議」、及び第 3 号「官製談合事件の検証と再発防止を求める決議」の決議本文を掲載します。

また、今回は市長逮捕の事態を受け、市政に対する責任ある答弁が求められないと判断し、一般質問を中止しております。

本事案についてのこれまでの経緯

- 令和 6 年 2 月 13 日 官製談合防止法違反などの疑いで、内川市長逮捕
- 令和 6 年 3 月 5 日 検察当局により起訴
- 令和 6 年 3 月 11 日 内川市長より、15 日で退職する旨の辞職届が議長に提出される
- 令和 6 年 3 月 12 日 内川市長の退職の期日について市議会で同意（3 月 15 日退職）
- 令和 6 年 3 月 18 日 「行政監視機能強化検討特別委員会の設置に関する決議」を可決
「官製談合事件の検証と再発防止を求める決議」を可決

決議第 2 号

行政監視機能強化検討特別委員会の設置に関する決議

次のとおり、行政監視機能強化検討特別委員会を設置するものとする。

記

- 1 名称
行政監視機能強化検討特別委員会
- 2 設置の根拠
地方自治法第109条及び神崎市議会委員会条例第6条による
- 3 設置の目的
市議会による行政監視機能強化に関する手法について調査・検討することを目的とする
- 4 委員の定数
18名（全議員）
- 5 設置の期間
上記特別委員会は、3に掲げる目的達成するまで閉会中もなお調査・検討を行うことができる。

決議第 3 号

官製談合事件の検証と再発防止を求める決議

令和 6 年 2 月 13 日、本市発注のふるさと納税 P R 強化事業をめぐり、当時の現職市長が逮捕され、3 月 5 日に起訴された事実については、神崎市民に大きな衝撃を与え、市政に対する信頼を著しく失墜させる事態となった。

本事案が与えた影響は計り知れず、これまで市政が築いてきた信頼を根本から崩す、神崎市政始まって以来の不測の事態である。

二元代表制の一翼を担い、市政を監視する立場である議会としても、この事態を深刻に受け止め、あらためて議会としての役割と責任を感じているところであり、市政の監視機能の強化に向けた手法を検討することを目的とした特別委員会を設置し、議会として再発防止に全力を挙げて取り組んでまいります。

一方、新たに選出される市長及び執行部に対しては、この事案における背景や事実を徹底的に検証し、このような事態が二度と繰り返されることのないよう万全の措置を講じることを求めます。

そして、市政に対する市民の信頼を回復するために全力を尽くすことを強く望むものである。

以上、決議する。

令和 6 年度一般会計当初予算

前年度当初予算と比較して 2.7% 増

214 億 8,700 万円

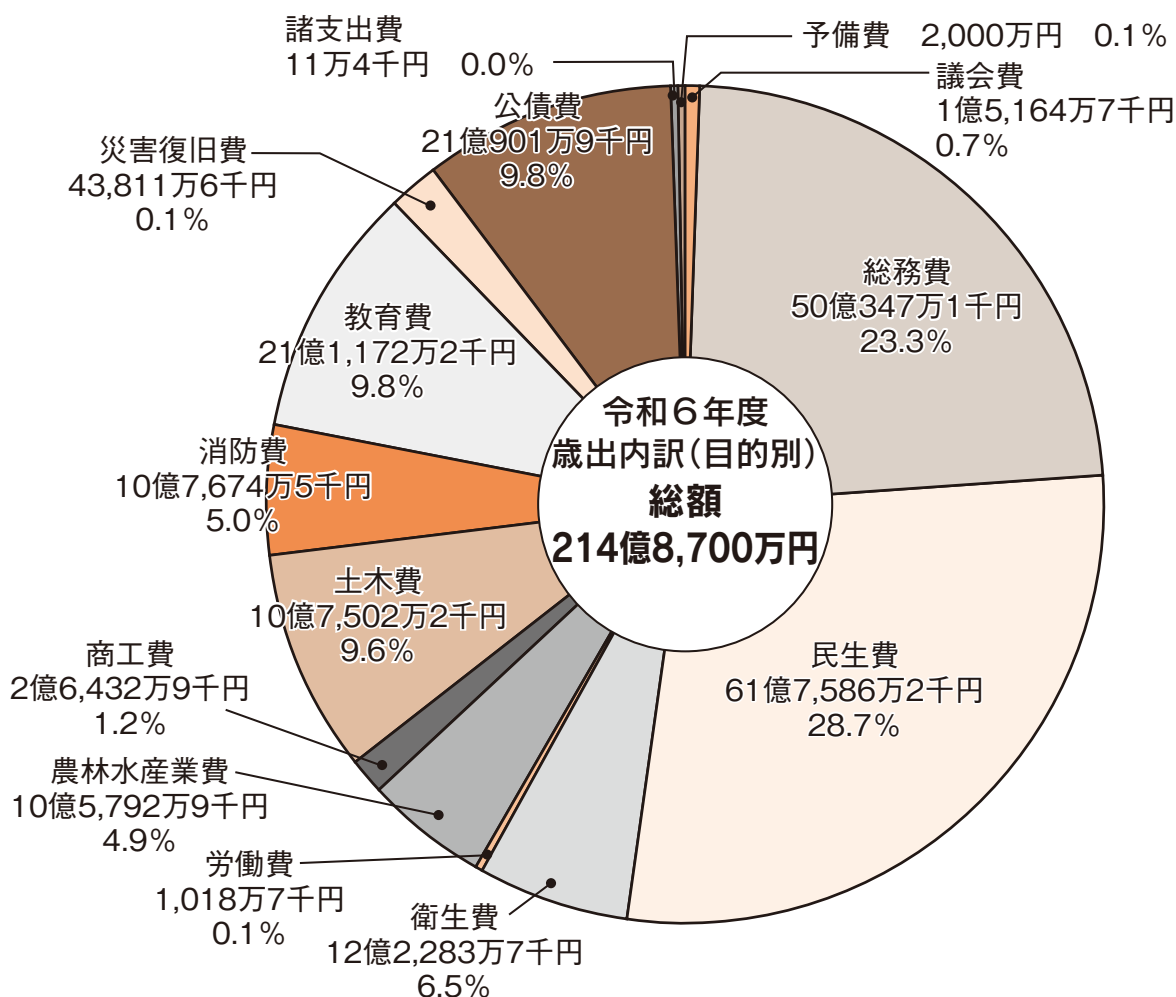
令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 号）

2,339 万円を追加して、215 億 1,039 万円

2 月定例会は、令和 6 年 2 月 22 日から 3 月 18 日まで開かれました。一般会計当初予算の総額については、214 億 8,700 万円、補正第 1 号で 2,339 万円が追加され、総額 215 億 1,039 万円となりました。

提案理由の中で、「新年度も、引き続き市民志向の視点をもって市政運営に励んでいくとともに、すぐできることは迅速に、時間を要することはしっかりと議論を重ね、市政発展のため全力を尽くす」と説明がありました。尚、令和 6 年度の神崎市一般会計予算編成については市長の逮捕に伴い、「骨格予算」となっています。

令和 6 年度 一般会計当初予算の円グラフ



／令和 6 年度当初予算の主な事業を紹介します／

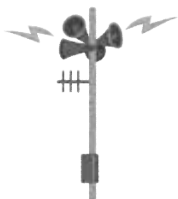
防災行政無線を更新します

○【継続費設定】災害対策費 （防災行政無線設備更新事業）

4 億 226 万 4 千円

平成 24 年度から運用している防災行政無線は老朽化が進んでいる。災害時に迅速かつ確実な情報の伝達手段である防災行政無線を更新することで市民の安心・安全に寄与する。

令和 5 年度に行った防災行政無線設備更新に係る実施設計を基に、令和 6 年度から令和 7 年度までの 2 か年の継続費を設定し更新工事を実施する。



プロジェクト名は、『菱でひしめく神崎市へ！絶滅寸前の菱を救わんば！』

○菱再興プロジェクト寄附金 （神崎市ブランド創造事業） 240 万円

神崎市と商品開発の連携協定を締結している西九州大学では、市の特産品である「菱」の生産量減少を危惧し、菱の栽培をはじめ商品開発及び認知度向上 PR を目指した活動を計画されており、市ではふるさと納税制度を利用したガバメント・クラウドファンディングにより計画に賛同する方の寄付を募り、集まった寄付を西九州大学に交付する。



子育てサポート～産婦健診・産後ケア～

○産婦健診・産後ケア事業 241 万 4 千円

産後間もない時期に産婦の健康診査を実施し、健診の結果、支援が必要な母子に対して心身の状態に応じた保健指導、相談その他の援助（産後ケア）を行い、子育てサポートに繋げることを目的とし実施する。

①産婦健診

産科医療機関に委託し、産婦健康診査を実施し、産後ケアの対象となる産婦等をスクリーニングする。

②産後ケア

助産師会に委託し、訪問による産後ケアを行う。助産師会による産後ケア後、更に支援が必要な場合は、継続支援を行う。



2024 国スポ全障スポ開催！

○国民スポーツ大会関連事業 3 億 8,107 万円

広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的に開催される国民スポーツ大会の成功に向け、開催機運を高め、大会の円滑な開催・運営を図る。

【神崎市開催競技】

○正式競技

剣道競技（9 月 28 日～ 30 日）、ハンドボール競技（10 月 10 日～ 14 日）

○デモンストレーションスポーツ

フライングディスク（7 月 7 日）、いごてだま（7 月 14 日）





予算特別委員会の主な質疑

総務企画部

ふるさと納税推進事業について

Q 令和 6 年度の目標額が 21 億円、昨年度は目標額 25 億円としていたが 19 億円から 18 億円程度に減額補正されている。この目標額の根拠は。

A 令和 5 年度の実際の目標額を 21 億円として減額しており、そういった観点から設定している。

【継続費設定】防災行政無線設備更新事業について

Q 入札の方法について、プロポーザルを考えられているが、今回の官製談合事件を受けているような問題も出ている。どう考えられているのか。

A プロポーザルでの計画ではあるが、仕様書なりがきちつと整理ができる形になれば競争入札ということも考えていきたい。

Q 「無線からの音が聞こえづらい」という声がよく挙がっていたが、今回の更新では課題が改善された設計になっているのか。

A 新たに導入を検討しているスピーカーは試験放送を踏まえ、広範囲に伝達し、遠くまで届く音量で明瞭性も改善されたものを検討している。

市民福祉部

産婦健診・産後ケア事業について

Q この事業の対象件数の 34 件の根拠は、また継続支援はどのような支援を想定しているのか。

A 佐賀市が先行して実施したものをモデルとして県内市町に拡大するもので、佐賀市の出生数から、継続支援が必要だった割合を参考とすると、神崎市では 34 件となる。

生まれて 2 週間後にお母さんが産婦健診を受診し、支援が必要と判断された方は助産師会が対象者を訪問する。その結果を医療機関へ報告し、その結果を受けて市がフォローし、継続的な訪問や相談等で母子を支援していく計画となる。

私立・管外保育所等運営事業について

Q 令和 5 年度と比較すると、予算が増額しているが要因は何か。

A 国で運用基準を決めているが、人件費となっている。保育士確保対策として、数年前から処遇改善を国と地方と実施しており、民間の賃金上がる同じタイミングで保育士の賃金を上げるために、公定価格の増額があったことが大きな要因である。



教育委員会

国民スポーツ大会関連事業について

Q 今年の夏、佐賀県において国民スポーツ大会が開催され、当神崎市においてもハンドボールと剣道が 9 月、10 月に開催されるが、会場の暑さの中で選手が競技するにおいて、熱中症対策が危惧される。会場の中央公園体育館と神崎高校体育館は空調設備がないがどう対応されるのか。

A 今回の会場である中央公園体育館と神崎高校体育館については、仮設の空調での対応を考えている。



産業建設部

クリーク防災機能保全対策事業について

Q この事業の対象となる基準はあるのか。

A 県営クリーク防災機能保全対策事業の対象となる基準は、県営圃場整備事業で整備された、水深「概ね 2・0 m」以上の水路が対象となっており、佐賀県、神崎市、神崎市土地改良区において現地確認を行い、緊急性の高い路線から順次、予算の範囲内で整備を進めている。



▲十二丁樋管（H30.11.27）

城原川農業用水利施設統廃合事業について

Q 農業用水の取水樋管について、統廃合を検討することのことだが、どのような形で進めていくのか。

A 城原川の 35 樋管の統廃合事業においては、関係者に意向調査を行いほとんどの地区で同意されており、今回基本構想の策定業務を行い、今後は関係地区に随時説明を行いたい。

旧長崎街道神崎宿観光拠点づくり事業について

Q 今回は骨格予算であるが、この事業を計上した理由は。

A 旧長崎街道神崎宿観光拠点づくり事業は、単年度事業というものでありながら、令和 5 年度の調査、結果等ふまえて、令和 6 年度に向けて、事業を進めるため継続的と判断し計上している。



▲旧長崎街道神崎宿

各常任委員会の Q & A



各常任委員会での審議について、質疑を抜粋して紹介します。

総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件 4 件について審議を行いました。

議案名：神崎市空家等の適切な管理及び活用の促進に関する条例の一部改正について
（全員賛成）

Q 特定空家と判定する具体的な基準はあるのか。

A 放置すれば危険な状態になるというもので、国が示すガイドラインによる。

Q 管理不全の特定空家の勧告を受けた場合、固定資産税の住宅用地特例の減額解除となるため持ち主の負担が重くなる。そのような状態とならない対応を。

A 持ち主への通知文書について、軽減措置の解除等の恐れがあることについて 1 回目の通知からお知らせをしている。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、条例案件 4 件について審議を行いました。

議案名：神崎市がん検診等実施に関する費用負担金徴収条例の一部改正について
（全員賛成）

Q 乳がん検診の過去 5 年間の受診状況の推移と、検診率向上の取り組みについて

A 平成 30 年度は 16.4%、令和元年度が 9.7% で、令和 2 年度は 9.5%、令和 3 年度は 15.9%、令和 4 年度は 15.1% となっており、令和元年度と令和 2 年度はコロナの影響で落ち込んでいると考える。

乳がん検診、他のがん検診については、まず検診の対象者にハガキでお知らせをして、受診されていない方には、再度の勧奨を行っている。



賛否があった議案を紹介します。

議案第22号

令和 6 年度神埼市国民健康保険事業特別会計予算について

議案番号	議決結果	田原 和幸	野副 芳昭	大野 秋人	末次 勝	増田 紀之	徳川 博人	副島 英樹	平山 文也	服巻 玉美	中野 均	野口 英樹	白石 昌利	原口 ひさよ	木原 憲治	永沼 彰	福田 清道	佐藤 知美
議案第22号	賛成多数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

田原和幸議員は議長のため採決に加わっていません。

反対 討論 佐藤 知美 議員

国民健康保険税の問題では、都道府県化開始の前年度（2017年度）と比較すると2023年度は、1,736自治体のうち999自治体で保険税の引き上げが行われ、引き下げをした自治体は411、据え置を行った自治体は326という状況です。

このような国民健康保険運営の厳しさから、地方 3 団体は国保、介護保険に「税投入拡大」を求めています。さらに全国市長会、町村会は、令和 2 年12月に「国民健康保険制度を巡る議論等に対する意見」として、「法定外繰入等の解消や保険料水準の統一、更に普通調整交付金の配分等の議論が行われているが、国保等の保険者の苦境と被保険者の負担感に配慮したものではなく、地方分権の趣旨に反すると懸念される内容も散見されます。

市町村においては、これまで地域の様々な事情や住民の声を考慮しつつ、長年にわたり国保等を運営してきた経緯があることから、地方との十分な協議もないまま、国が一方的に議論を押し付けることは受け入れられない」と国に対し意見を述べています。

保険者の苦境、被保険者の負担感がある中で、令和 6 年度、都道府県の「標準保険税率」が示され、多くの自治体で国保税の引き上げの条例改正案が提案されていますが、佐賀県内においても佐賀市を始めとして 7 市町で引き上げが予定されています。

(次ページへ続く)

（前ページからの続き）

神崎市の国民健康保険特別会計の現状は、県単一化の下で神崎市は激変緩和措置がとられてきましたが、その措置も令和 3 年度末で終了したことにより、令和 4 年度には、国保財政調整基金を取り崩し 4,500 万円の補填を行い、令和 5 年度の当初予算においては基金より 5,500 万円の予算措置がなされ保険税の引き上げをすることなく経過してきましたが、令和 6 年度の当初予算編成では基金繰入 9,394 万円がなされ、当初基金積み立てが 2,972 万円で、国保財政調整基金の当初残高は 9,860 万円となっています。執行部の基金繰入で被保険者の保険料を据え置く努力は認めますが、令和 9 年の県の保険率の統一化まで財政調整基金からの繰入が維持できるのか危惧される状況、まさに苦境の事態です。

令和 6 年度の国民健康保険事業特別会計予算の質疑でも、市独自の軽減措置はしていないという答弁であり、被保険者にとって今でも高すぎる国保税の負担増は耐えられるものではありません。今こそ地方自治法の趣旨に沿って、一般会計から国保特別会計へ繰り入れを行い被保険者の負担軽減を求めて反対討論とします。

賛成 討論 原口 ひさよ 議員

国民健康保険事業については、団塊世代の後期高齢者への移行、被用者保険の適用拡大により、被保険者数は大幅に減る中で医療技術の高度化による一人当たりの医療費は増加している。

令和 6 年度の当初予算においては、特定健康診査等の実施や人間ドック検査に加え脳ドック検査まで拡充した検査費の費用助成を行うなど、被保険者の健康維持、増進と医療費の適正化に向けた取り組みが計画されている。

一方、国民健康保険税収入は、被保険者数の減少と低所得者の加入割合が高いことから 国保財政は大変厳しい状況にある。

こうした中、市においては平成 20 年度から国民健康保険税率の変更は行わず、国保財政調整基金からの繰入や保険事業、保険税の収納対策等の取り組みへの評価で交付される交付金等を活用し、保険税の据え置きに努力されている。

物価高騰や光熱費高騰の中で、市民の暮らしが一段と厳しさを増している中、保険税を据え置き、被保険者の負担増はしないという努力は評価できるものと考え、賛成討論とする。

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 野副 芳昭

議会改革検討特別委員会では、第 1 分科会、第 2 分科会の調査・研究経過報告を行い、委員全員で確認しました。また、来年度の議会報告会の開催について協議しました。

第 1 分科会では、議会でのタブレット端末導入について検討し、引き続き管理運用規定の協議を進めて行くことで確認しました。議会基本条例の制定は、今般の神崎市の情勢を踏まえ、議会基本条例及び議会政治倫理条例の必要性を認識し、制度に向けて研究を進めて行くことで確認しました。第 2 分科会では、前回の委員会で確認依頼されていた政務活動費の使途基準を調整し、最終的な「政務活動費の手引き」の内容確認がされました。また、総括質疑の在り方については、県内の実施状況を参考に、より良い方法で質疑が

行えるよう検討され、通告制導入についても議論を重ね、引き続き検討していく事で確認しました。

議会報告会、意見交換会については、令和 6 年度の開催について協議し、本年度も開催することで確認しました。なお、開催日や場所等については検討中で、昨年のアンケートを踏まえ多くの皆様に参加していただけるよう準備を進めてまいります。



▲議会改革検討特別委員会の様子

議会の動き（令和 6 年 1 月～3 月）

1 月 5 日 議会広報編集特別委員会

12 日 第 239 回佐賀県市議会議長会

16 日 議会広報編集特別委員会

30 日 議会広報編集特別委員会

議会改革検討特別委員会第 1 分科会

31 日 全国市議会議長会基地協議会第 108 回理事會（東京都）

全国市議会議長会基地協議会第 87 回総会（東京都）

2 月 9 日 総務常任委員会

14 日 産業建設常任委員会

15 日 文教厚生常任委員会

19 日 議会改革検討特別委員会第 2 分科会

20 日 議会運営委員会

2 月 22 日～ 令和 6 年 2 月神崎市議会第 1 回定例会
3 月 18 日

2 月 22 日 全員協議会

28 日 令和 5 年度予算特別委員会

29 日 議会広報編集特別委員会

3 月 1 日 全員協議会

5～7 日 令和 6 年度予算特別委員会

7 日 議会運営委員会

議会改革検討特別委員会第 1 分科会

8 日 総務常任委員会

11 日 文教厚生常任委員会

議会運営委員会

全員協議会

12 日 産業建設常任委員会

13 日 議会改革検討特別委員会

議会運営委員会

14 日 全員協議会

議会運営委員会

18 日 全員協議会

28 日 行政監視機能強化検討特別委員会

広報編集特別委員会の 任期を終えて…

私たち 6 名は、令和 4 年 4 月から 2 年の間、議会広報編集特別委員会委員として、神崎市議会だよりの編集を行ってきました。委員の任期を終え、私たち 6 名の想いを綴ります。今後とも、神崎市議会だより「あやとり」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いします。



▲ある日の編集作業

議会だよりの愛称、「あやとり」を応募してくれた神中 2 年生の千住真奈香さん、ありがとうございました。



佐藤 知美

議会活動をお伝えする「あやとり」。忙しい中でも誌面の大切さを感じております。



平山 文也

ONE TEAM で広報作業やりがいがありました。また、事務局職員さんのサポートにも感謝。



白石 昌利

議会広報委員を担当し 2 年が過ぎました。周りの方々の御協力で無事に役目を果たさせて頂き感謝申し上げます。



副島 英樹

議会だよりの名称「あやとり」となり、様々な形に変化するように、広報誌で繋げる大切さを実感しました。



徳川 博人

議会だより作成にあたり、大変な作業でしたが、この 2 年間たくさんの方に学びに感謝申し上げます。



末次 勝

編集後記

正月早々の能登半島での地震、衝撃的な年明けでした。それにもまして、2 月 13 日、市長が官製談合防止法違反などの容疑で逮捕され、まさに激動の渦中にあります。

市政の一翼を担う議会としても、真摯にこの問題を受け止め一刻も早く市民の皆様の信頼回復に向け取り組み必要を痛感しております。

2 月定例会では、これを受けて急遽骨格予算に組み替えられて令和 6 年度当初予算が編成されましたが、職員の皆様には大変な業務をこなされ、その労に深甚なる敬意を払いたいと思います。

議会としては、市政のチェック機能の強化を図る特別委員会を設置し、その機能強化を図る手法を早急に取りまとめるための検討を進めております。

神崎市には、優秀な職員の皆さんがたくさんいます。新たな市長も 4 月に誕生しました。この難局を打破するためチーム神崎として共に頑張ります。

（記 平山 文也）

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 知美	委員長	副島 英樹
副委員長	平山 文也	副委員長	徳川 博人
委員	白石 昌利	委員	末次 勝